

国際会議から

ITA 国際トンネル会議 (WTC2013)

本会議は、International Tunnelling and Underground Space Association (ITA) が主催する国際会議で、トンネル・地下空間技術に関する会議では世界で最大のものです。1975年より毎年開催され今年で39回目を数えます。扱われるトピックはトンネルの計画、設計、建設から維持管理にわたるまで多岐にわたり、オールセッション形式、PCを用いたポスターセッション形式での発表がありました。筆者は、山岳トンネルの地震被害の再現実験と解析に関してオールセッションで発表を行いました。スイスは、ドイツ、フランス、イタリア等の周辺諸国からの鉄道によるアクセスが良く、パリからTGVにて3時間半、ミュンヘンからICEにて3時間という立地条件にあります。また、モーダルシフトによるCO<sub>2</sub>削減の観点から、ヨーロッパの南北をつ



野城一栄  
構造物技術研究部  
トンネル研究室  
主任研究員

なくショートカットとして、アルプスを貫く鉄道の整備が推進されており、現在、Gotthard Base Tunnel (延長57km) を始めとして、長大鉄道トンネルが相次いで建設されています。このため、本会議でも「アルプス山脈を貫くトンネル」のセッションが別途設けられ、また、テクニカルツアーでCeneri Base Tunnel (延長14km) の見学会が催されるなど、スイストンネル界は大変な活況を呈していました。



発表風景



ジュネーブ駅に乗り入れるTGV

正式名称：ITA-AITES World Tunnel Congress 2013  
 開催国：スイス(ジュネーブ)  
 期間：2013/5/31-6/7  
 開催頻度：毎年  
 主催：ITA  
 次回開催予定：2014年5月(ブラジル)  
 ホームページURL：<http://www.wtc2013.ch/home.html>